



福島県いわき建設事務所

令和6年3月21日
福島県いわき建設事務所

「第3回新川・宮川浸水対策検討会」を開催しました

台風13号の影響で発生した線状降水帯に伴う豪雨により甚大な被害が生じた新川・宮川流域について、効果的な浸水対策等を検討するため学識経験者や関係機関の職員が委員となり、令和6年3月21日に福島県いわき合同庁舎 南庁舎3階大会議室で「第3回新川・宮川浸水対策検討会」を開催しました。

前回検討会では氾濫要因分析の結果報告及び浸水対策の方向性などについて検討を行ったところですが、本検討会では浸水対策に関する検討、氾濫シミュレーションの報告及び浸水対策のスケジュール（案）などを説明し、各委員から貴重な意見等を頂きました。今回の意見等を踏まえながら、全4回の検討会で効果的な浸水対策等についてとりまとめる予定です。

【第3回新川・宮川浸水対策検討会の概要】

日時：令和6年3月21日（木）14時00分～15時30分

場所：福島県いわき合同庁舎 南庁舎3階大会議室（いわき市平字梅本15番地）

委員：川越 清樹（福島大学 共生システム理工学類 教授）

柴山 明寛（東北大学 災害科学国際研究所 准教授）

菊地 卓郎（福島工業高等専門学校 都市システム工学科 教授）

ほか 国土交通省、福島県、いわき市の関係職員



■ 県のホームページで、復旧・復興情報をご覧になれます。

ふくしま復興 インフラ

検索